



インタラクティブ・フラットパネ ル

ユーザーマニュアル

法的情報

本書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が記載されています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本書に記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本書の最新バージョンは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本ドキュメントをご利用の際は、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてください。

本製品について

- 本製品のアフターサービスサポートは、購入された国または地域でのみご利用いただけます。
- お選びいただいた製品がビデオ製品である場合は、以下の QR コードをスキャンして「ビデオ製品の使用に関する取り組み」を入手し、よくお読みください。



知的財産権の承認

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなどを含む）は、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな法域において Hikvision の所有物です。
- その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

- **HDMI™** 「HDMI」、「HDMI High-Definition Multimediaインターフェース」、
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および本書に記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISIONは、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的ないかなる保証も行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失による損害を含みますが、これらに限定されません。これらは、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくものであるかを問わず、本製品の使用に関連して生じたものであっても、HIKVISIONがそのような損害

インタラクティブ・フラットパネル・ユーザー マニュアル

または損失について、

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負わないことを認めるものとします。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援するいかなる活動も含まれます。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先する。

© 杭州海康视界デジタルテクノロジー株式会社。無断転載を禁じます。

はじめに

対象モデル

本マニュアルは、インタラクティブフラットパネルに適用されます。

記号の説明

本書で使用されている記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる可能性のある、リスクの高い危険を示しています。リスクのレベルは高くなっています。

本マニュアルに記載されているすべての製品は、「Product Security Redline V4」に基づいて開発されています。

目次

第1章 はじめに	1
第2章 操作および保守上の注意事項	2
2.1 電源ケーブルの使用について	2
2.2 清掃および保守	3
第3章 接続と設置	4
3.1 設置上の注意事項	4
3.2 外観とインターフェース	4
3.2.1 前面パネルとインターフェース	4
3.2.2 パーソナルコンピュータ (PC) への接続	7
3.3 コンピュータへの内蔵設置	8
3.4 取り付け	9
第4章 起動とシャットダウン	12
4.1 デバイスの起動	12
4.1.1 コンピュータ本体なしで設置する場合	12
4.1.2 コンピュータボックスを使用しての設置	12
4.2 エコモード	12
4.3 シャットダウン	12
第5章 メニューの操作	14
5.1 基本操作	14
5.2 システムバー	15
5.3 入力ソース	16
5.4 ネットワーク	16
5.5 コントロールメニュー	16
5.5.1 注	17
5.5.2 スクリーンショット	19
5.5.3 投票機	19
5.5.4 ランダム選択	21
5.6 カメラ機能	23
5.6.1 カメラ	23
5.6.2 ビデオ	23
5.6.3 設定	24
第6章 システム設定	25
6.1 ネットワーク設定	25
6.1.1 有線ネットワーク設定	25
6.1.2 無線ネットワーク設定	26
6.1.3 WLANホットスポットの設定	27
6.2 ディスプレイ設定	28
6.3 オーディオ設定	30
6.4 言語と入力設定	30
6.5 日付と時刻の設定	30
6.6 アプリケーション管理	31
6.7 Bluetooth	32
6.8 補助機能	32
6.8.1 温度制御	32

インタラクティブ・フラットパネル・ユーザーマニュアル

6.8.2 物理ボタンの設定.....	33
6.9 詳細設定	33
6.10 ユーザー設定	36
6.11 デバイス情報	38
6.12 ネガティブ画面	38
第7章 インテリジェント・アプリケーション.....	39
7.1 ファイルブラウザ	39
7.2 ブラウザ	40
7.3 ホワイトボード	40
7.3.1 ツールバーの基本操作.....	41
7.3.2 その他のツール.....	42
7.3.3 ホワイトボードの管理.....	48
7.3.4 ホワイトボードを保存.....	48
7.3.5 ホワイトボードを共有する	49
7.3.6 その他の機能	50
7.4 WonderCastServer.....	52
7.5 システムにプリインストールされているアプリケーション	52
第8章 付録A よくある質問	53

第1章 はじめに

インタラクティブフラットパネル（以下、「本デバイス」といいます）は、コンピュータ、プロジェクター、インタラクティブホワイトボード、スピーカー、広告機などの機能を一体型で搭載したものです。本デバイスは、4Kディスプレイ、赤外線タッチ、人間と機械の相互作用、マルチメディア情報処理、ネットワーク伝送などの複数の技術を搭載しており、書き込み、注釈、マルチスクリーン共有、リモートビデオ通話（オプション）などのさまざまな機能をユーザーに提供します。

本デバイスは、主にオフィス、会議室、マルチメディア教室、展示ホールなどの場所で、遠隔ビデオインタラクティブ、研修や指導、医療相談などのイベントに使用されます。

主な特長

- 最大 3840 × 2160 の解像度を持つ Ultra HD ディスプレイに対応しています。
- 20px の超微細な書き込みが可能で、直径 2 mm の文字も 1 mm の精度で認識します。
- USB 3.0 に対応しています。
- Wi-Fi を内蔵しており、ケーブル接続なしで画面ミラーリングが可能です。
- インタラクティブホワイトボードシステムを内蔵しており、QRコードによる注釈の追加や共有が可能です。
- ループアウト表示に対応しています。
- デバイス接続用のさまざまなオーディオおよびビデオインターフェースを備えています。
- 内蔵のネットワークスイッチモジュールにより、ネットワークスイッチが不要になります。
- Androidシステムを内蔵しており、様々なアプリケーションを利用できます。
- OPS/OPS-Cデバイスに対応しており、内蔵システム間のスムーズな切り替えを実現します。
- アルミニウムプロファイルフレームを採用した超薄型デザイン。

第2章 操作とメンテナンス

注意事項

本装置の LCD パネルは、高精度な技術によって製造されています。ただし、画面上に常に点灯している、あるいはまったく点灯しない微細なスポットが見られたり、横から見たときに色や明るさにムラが見られる場合があります。しかし、上記の現象は故障ではなく、LCD ディスプレイでは一般的なものであり、本機の性能には影響しません。

- 本装置の操作中に第三者によって引き起こされた不具合、およびその他の故障や損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災や損傷の危険を避けるため、ほこりや高湿度、あるいは油や蒸気が付着する環境では本機器を使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、強い光源の近くには本機器を置かないでください。
- 強い放射線を放出する他の機器の近くに本機を置かないでください。
- 本製品を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 本機器を不安定または危険な場所に置かないでください。強い衝撃、振動、揺れを避けてください。
- 火災の危険を避けるため、加熱装置や高温の場所の近くで本機器を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ本機を移動させた後は、すぐに電源を入れず、結露が蒸発するまで待ってください。
- 本機に異物を挿入しないでください。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。
- 本機およびアクセサリは、予告なく変更される場合があります。
- ディスプレイの材質は壊れやすいため、落下や衝撃に弱いです。取り扱いには十分ご注意ください。
- デバッグや操作中の不適切な操作は、本機の損傷の原因となる場合があります。
- 本体を硬い物で引っかいたり、叩いたりすることは固く禁じられています。損傷や故障のリスクを避けるため、操作中は本体の電源を頻繁にオン/オフしないでください。
- 本製品から煙、異臭、または異音が出た場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてから、サービスセンターにご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用について

- 電源ケーブルが破損または故障している場合は、サービスセンターにご連絡ください。電源が適切に接地されており、筐体の銘板に記載されている要件に合致していることを確認してください。
- 本機を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨の際は、電源プラグとアンテナを取り外してください。

- 本機を長期間使用しない場合は、本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
- 電源を切った後、短時間ですが放電が続く場合があります。電源を切ってから2分間待ってから、本機を操作してください。
- 本製品には、同梱の純正電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入するには、正規販売店にお問い合わせください。
- 電源が確実に接地されていることを確認してください。
- 電源プラグやコンセントに、ほこりや金属片が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から遠ざけてください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- このケーブルは、インタラクティブディスプレイにのみ使用可能です。他の機器には使用しないでください。

2.2 清掃およびメンテナンス

- 背面カバーの穴は放熱用です。背面カバーに液体を注いだりスプレーしたり、濡れた布で拭いたりしないでください。
- クリーニングを行う前に、電源プラグを抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- 本体の清掃には、乾いた、柔らかく、ほこりのない布を使用してください。
- 内部のクリーニングについては、サービスセンターにお問い合わせください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を回避することができます。
- 本体を定期的に清掃し、新品同様の状態を保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、工業用化学薬品を使用して本機を清掃しないでください。本機への異物の侵入を防いでください。
- 本機の内部のクリーニングについては、認定サービス担当者にご連絡ください。本機に損傷がある場合は、弊社にご連絡ください。無断で修理を行わないでください。

第3章 接続と設置

3.1 設置上の注意事項

- 最高の性能を発揮させるため、設置前に本体の画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカーが提供するウォールマウントまたは台座のみを使用してください。
- ウォールマウントについては、専門のスタッフにご依頼ください。
- 設置前にアクセサリを確認してください。不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。
- 本体をきつく締めすぎないでください。締めすぎると、画面が歪む恐れがあります。
- 本機は耐力壁に取り付けてください。
- 本機を安定した場所に置くか、壁にしっかりと固定してください。
- 電源接続を容易にするため、本機は利用可能な AC 電源コンセントの近くに設置してください。信号干渉を防ぐため、他の機器と同じアースケーブルを使用してください。
- 本機を機械的な振動源の近くに置かないでください。
- 本機を、虫が侵入しやすい環境に設置しないでください。
- 結露を防ぐため、本体をエアコンに直接向けないでください。
- 無線干渉を防ぐため、強い電磁界の中に本機を置かないでください。

3.2 外観とインターフェース

3.2.1 Front Panel and Interfaces

インタラクティブフラットパネルのインターフェースは以下の通りです。



- 本装置のインターフェースは、機種によって異なります。
- 以下の説明は、画面を正面から見た場合のものとなります。



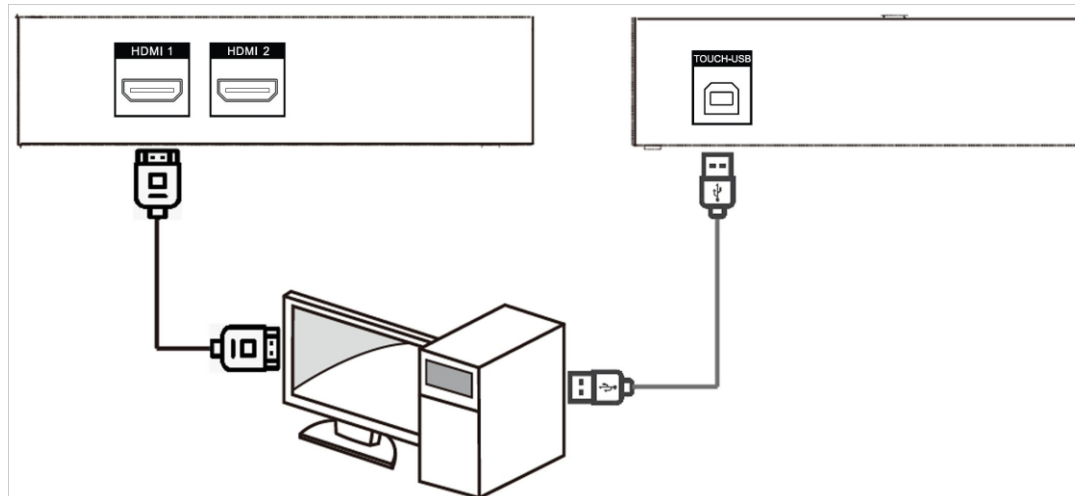
Figure 3-1 前面パネルとインターフェース

Table 3-1 パネルの説明

No.	説明	No.	説明
1 (左から 右へ)	HDMI入力インターフェース 多機能USBインターフェース 多機能USBインターフェース 多機能USBインターフェースType-Cイ ンターフェース 光センサー リモコン	2	NFC 操作については、「 6.10 ユーザー設定 」の「 カードロック解除 」を参照し てください。
3 (左から 右へ)	電源ボタン 音量－ 音量＋ Androidホストメニュー 戻る コントロールメニュー 物理ボタン（デフォルトではPCに切り替わ ります。カスタム操作については、 6.8.2 「物 理ボタンの設定 」を参照してください)	4	電源スイッチ
5	電源 AC 100 ～ 240 V	6	多機能USBインターフェース
7	Android USBインターフェース	8	HDMI入力インターフェース 1
9	LAN 1 インターフェース	10	LAN 2 インターフェース
11	周辺機器用タッチインターフェース	12	シリアルポートインターフェース
13	オーディオ入力インターフェース	14	オーディオ出力インターフェース

3.2.2 Connection to Personal Computer (PC)

PCと本機の接続は以下の通りです。



取り付けや分解を行う際は、必ず本機の電源を切ってください。

Figure 3-2 PCへの接続

 Note

- Touch-USB インターフェースは、本デバイス上で外部 PC をタッチ操作する場合にのみ必要です。
- HDMI 信号の伝送品質を高く保つため、長さが 10 メートル未満の高品質な信号ケーブルを使用してください。
- USB ケーブルは製品には含まれていません。Type-A コネクタから Type-B コネクタへの USB ケーブルをご購入ください。

3.3 内蔵コンピュータへの取り付け

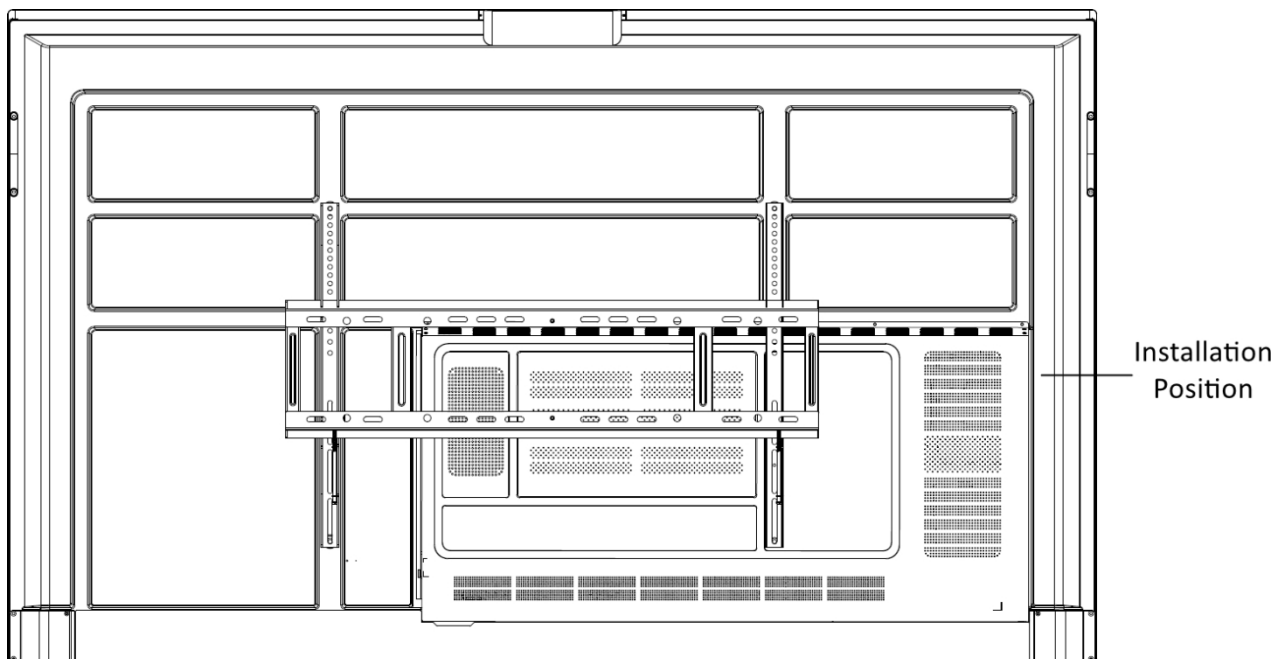


Figure 3-3 コンピュータ本体の取り付け

コンピュータボックスは、本機の側面スロットに取り付けます。ボックスを取り付ける際は、上図のように、その通気孔が背面パネルと同じ方向を向いていることを確認してください。ネジを締めて、ボックスを所定の位置に固定してください。

 Danger

- コンピュータはオプションのアクセサリです。
- 本体の破損を防ぐため、コンピュータボックスを取り外す際は、必ず本体の電源を切ってから行ってください。

3.4 取り付け

本装置は、下図に示すように、ウォールマウントまたは可動式マウントで設置できます。

Note

ウォールマウント用と可動式マウント用のアクセサリは異なります。混同しないようにしてください。

ウォールマウント取り付け

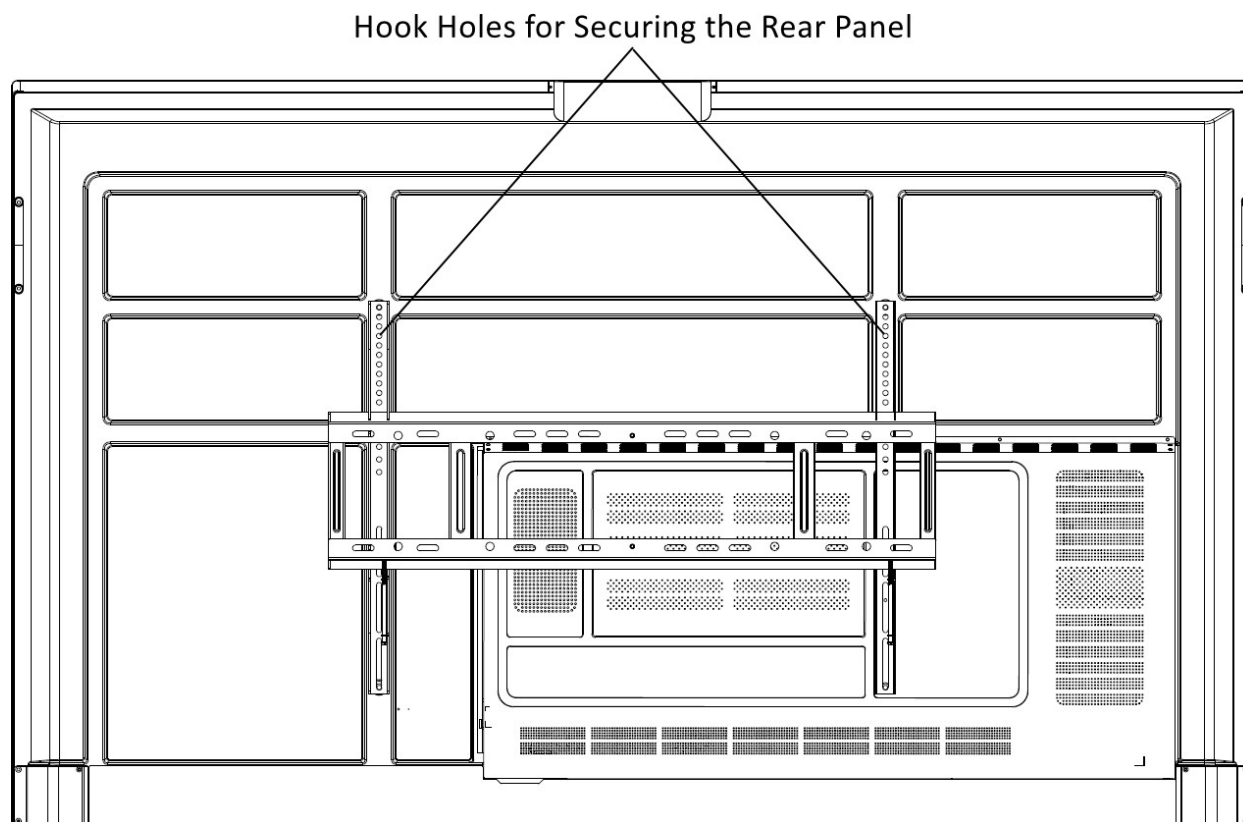


Figure 3-4 ウォールマウント（背面図）

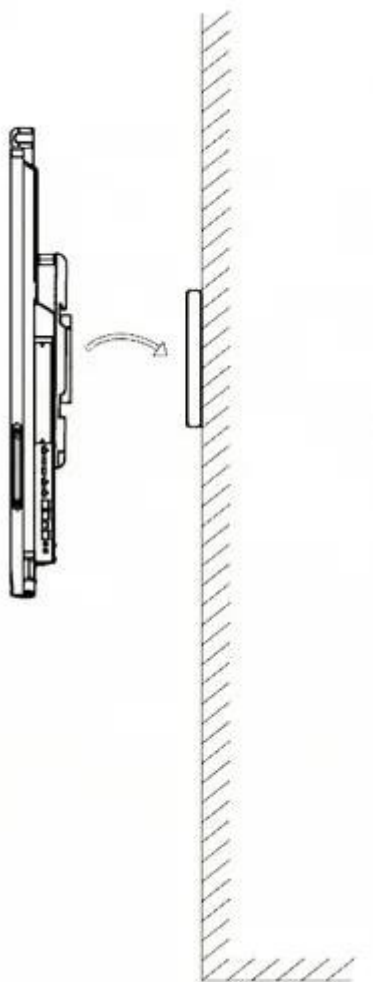


Figure 3-5 ウォールマウント（側面図）

 Note

ウォールマウントは水平方向に可動します。メンテナンス作業のため、両側に 6 cm 以上（または片側に 12 cm）、上下に 5 mm のスペースを確保してください。

可動式取り付け

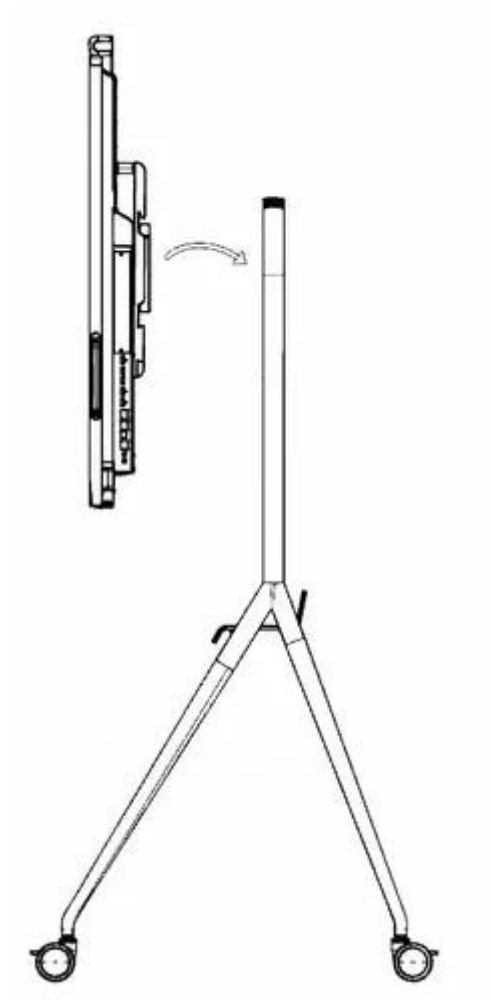


Figure 3-6 可動式取り付け

第4章 起動とシャットダウン

4.1 デバイスの起動

4.1.1 Installed Without a Computer Box

手順

Step 1 デバイスを電源に接続します。

Step 2 電源スイッチをオンにすると、前面パネルの電源インジケータが赤色に点灯します。

Step 3 前面パネルの電源ボタンを押してデバイスを起動すると、インジケータが青色に変わります。

4.1.2 Installed with a Computer Box

本体の電源を切った状態でボックスを取り付け、取り付けが完了してから電源スイッチを入れてください。起動中、ボックスの電源インジケータが赤色に点灯し、ファンが回転し始めます。ピープ音が鳴った後、電源インジケータが緑色に点灯し、コンピュータの電源が入ります。

その間、フロントパネルの電源インジケータが青色に点灯し、デバイスの電源が入っていることを示します。

4.2 エコモード

エコモードへの移行

フロントパネルの電源ボタンを押して画面を消し、エコモードに入ります。

デバイスの復帰

デバイスを起動する4つの方法：

- 前面パネルの電源ボタンを押します。
- リモコンの電源オフボタンを押します。
- 画面の任意の場所を2回タップします。

4.3 シャットダウン

● 本機にコンピュータボックスが接続されていない場合、またはコンピュータボックスの電源が切れている場合は、本機の電源を直接切ってシャットダウンしてください。

● 本機にコンピュータボックスが設置されており、その電源が入っている場合は、「スタート」をタップして[シャットダウン]を選択するか、コンピュータボックスの電源ボタンを押してシャットダウンしてください（電源ボタンを長押しすると強制シャットダウンになります）。その後、電源を切ってデバイスをシャットダウンしてください。

 Note

本体の電源を直接切ると、コンピュータボックスの強制シャットダウンにつながります。次回本体が起動した際、Windows がエラー回復モードに入り、画面のタッチ操作が使用できなくなる場合があります。その場合は、マウスとキーボードを本体に接続する必要があります。

- リモコンの電源オフボタンを長押しします。

第5章 メニュー操作

Note

ソフトウェアのインターフェースや機能は、デバイスのモデルによって異なる場合があります。本マニュアルのすべての画像は、あくまで説明のためのものです。

デバイスの電源を入れ、メインページに移動します。画面の下部にショートカットメニューが表示されます。



Figure 5-1 メインページ

Note

メインページのアプリケーションアイコンを長押しすると、以下の操作が行えます。

- アプリケーションを画面上で移動します。
- アプリケーションを他のアプリケーションと一緒にフォルダにまとめる。

5.1 基本操作

ショートカットアイコンの機能については、以下に説明します。



Figure 5-2 ショートカット

Table 5-1 ショートカット 説明

No.	番号	No.	番号
1	タップすると、下部のメニューバーが非表示になります。	6	タップして、すべてのアプリのプロセスを確認またはクリアします。
2	タップして前のページに戻ります。	7	タップして、ネットワーク設定やホットスポットを設定します。
3	タップして入力ソースを選択します。	8	タップして、明るさと音量を設定します。
4	タップしてすべてのアプリを確認します。 長押しして、選択したアプリケーションを分割画面モードまたはウィンドウモードで表示するように移動します。	9	タップしてコントロールメニューを開きます。
5	タップしてメインページに戻ります。	/	/

Note

斜めのストロークを持つ線がオフの場合は最大20本のペンを使用できますが、オンになっている場合は1本のみ使用可能です。下部のバーメニューが非表示になった後は、 から呼び出すことができます。



Figure 5-3 下部バーを表示

5.2 システムバー

システムバーの領域を長押しすると、システムバー内のアプリの配置を変更できます。

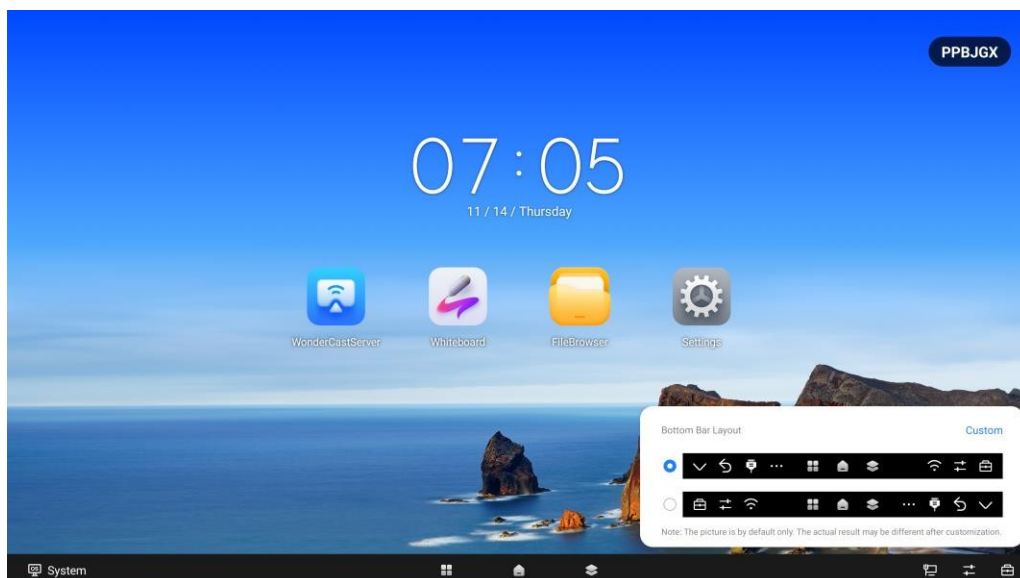


Figure 5-4 システムバーのレイアウト

[カスタマイズ] をクリックし、アイコンを移動させて位置を調整します。

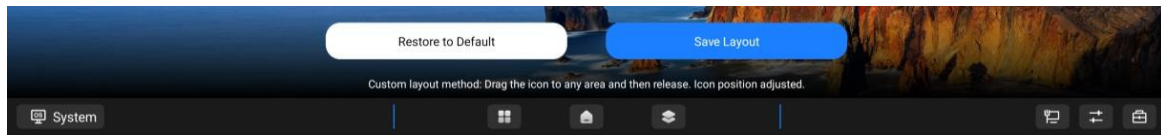


Figure 5-5 システムバーのレイアウトをカスタマイズする

5.3 入力ソース

下部にある入力ソースのアイコンをタップし、デバイスの入力ソースを設定します。「システム」、「HDMI 1」、「HDMI 2」、「Type-C」、「DP」、「VGA」が利用可能です。

5.4 ネットワーク

有線ネットワーク、無線ネットワーク、およびWLANホットスポットの詳細なパラメータを設定します。詳細については「[ネットワーク設定](#)」を参照してください。

5.5 コントロールメニュー

下部の「」をタップして、コントロールメニューを表示します。以下の操作が可能です。

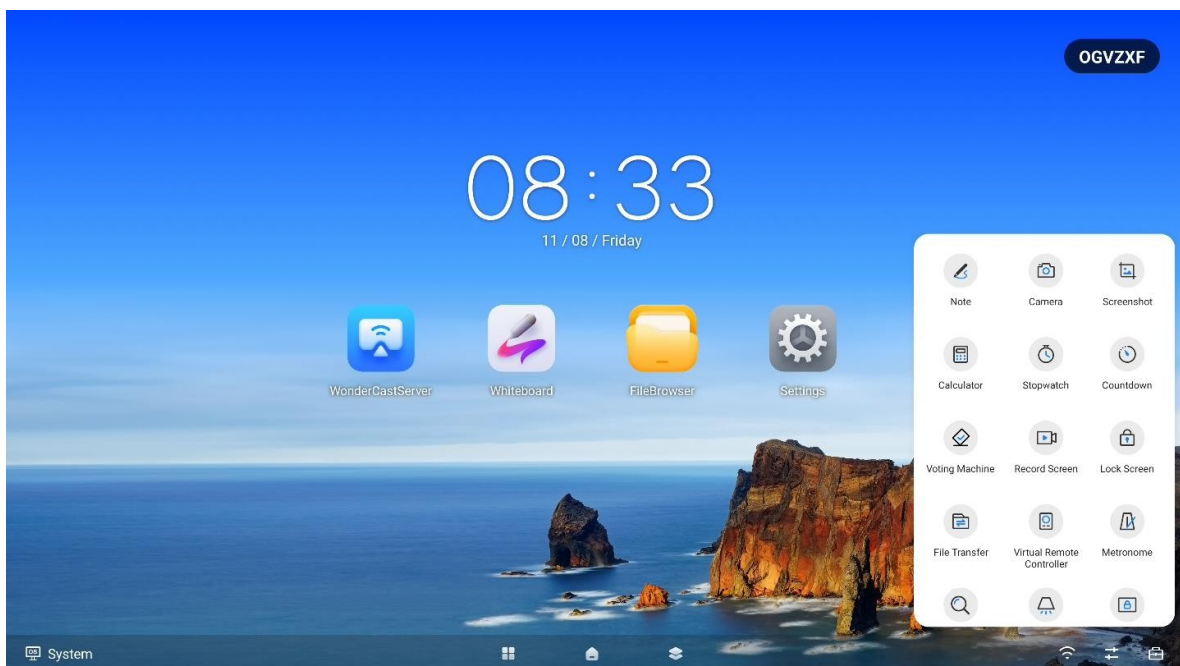


Figure 5-6 コントロールメニュー

Table 5-2 コントロールメニューの説明

ツール	説明
注	現在のページに注釈を追加します。
カメラ	デバイスに紐付けられたカメラを開きます。
スクリーンショット	現在のページをキャプチャします。
電卓	内蔵の電卓を起動します。
ストップウォッチ	ストップウォッチ
カウントダウン	秒をゼロまで逆算します。
投票機	投票を行うための設定を行います。
画面録画	画面をビデオとして録画します。
画面ロック	タップしてタッチロックを有効にすると、ロックされたページではタッチ操作ができなくなります。ロックをタップして終了すると、タッチ機能は通常に戻ります。
ファイル転送	ファイルを転送します。
仮想リモコン	仮想リモコンを有効にします。ホバー表示のリモコンメニューでは、上、下、左、右、確定、戻る、ホームの各ボタンがサポートされており、ホバー表示される仮想リモコンの位置は移動可能です。
メトロノーム	タップしてメトロノームを表示します。スタートボタンをタップすると、ビートが聞こえます。音符とビートは調整可能です。
拡大鏡	拡大鏡をタップします。その後、画面をタッチすると拡大サークルが表示され、移動させて詳細を確認できます。サークルの大きさは調整可能です。
スポットライト	タップすると絞りが点灯します。明るさと大きさを調整できます。
画面の固定	現在のページを静止させます。
画面を黒くする	タップして画面をオフにします。
カレンダー	日付情報を確認します。
ピアノ	仮想ピアノツール。
ランダムセレクト	ランダムに1つを選ぶための選択肢数を設定します。

5.5.1 Note

「」→「Note」に進んでメモを作成します。画面をタッチして移動させることで、ページのどこにでもメモを追加できます。

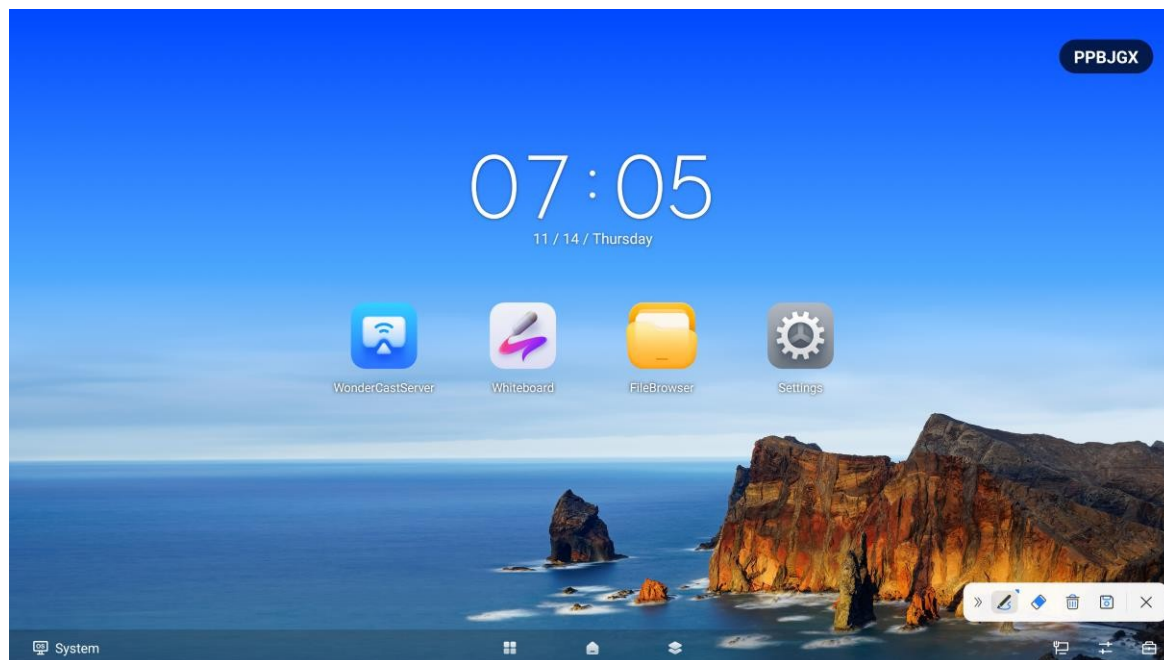


Figure 5-7 メモを取る

Table 5-3 アイコンの説明

アイコン	説明
	ペンの色やサイズはカスタマイズ可能です。 斜めのストロークを有効にするかどうか。  をタップすると斜めのストロークを持つ線になり、  をタップすると、斜めのストロークのない線になります。
	不要なノートを消去します。
	すべてのノートを消去します。
	現在のページを保存します。 フラットパネルが LAN に接続されたら、ノートの QR コードを生成します。同じ LAN 内のデバイスは、QR コードをスキャンしてノートをダウンロードできます。
	ノートから終了します。
	ノートツールバーを折りたたむ／展開する。

Note

斜めのストロークが有効になっていない場合は最大20本のペンを使用できますが、有効になっている場合は1本のみ使用できます。

5.5.2 Screenshot

「」→「スクリーンショット」を選択すると、現在のページにキャプチャ領域が表示されます。四隅をタップしてドラッグし、領域を調整します。領域の右下にスクリーンショットツールバーが表示されます。



Figure 5-8 スクリーンショット

Table 5-4 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	スクリーンショットを終了します。
	ページ全体をキャプチャします。
	スクリーンショットからQRコードを生成し、同じLAN内のデバイスがそのQRコードをスキャンしてスクリーンショットをダウンロードできるようにします。
	キャプチャ領域にスクリーンショットを保存します。

5.5.3 Vote Machine

フラットパネルがパブリックネットワークに接続されたら、コントロールメニューの「投票」をクリックします。クイック投票、または設定済みのオプションに基づいた投票を選択できます。

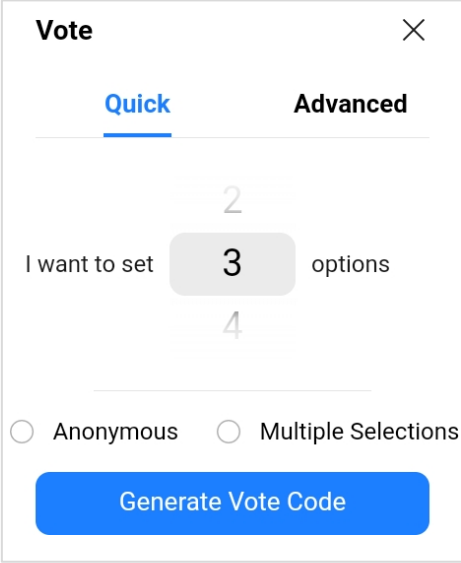
開始する前に

デバイスがネットワークに接続されていることを確認してください。

クイック投票

手順

Step 1[クイック]をクリックして、投票選択肢の数を選択します。



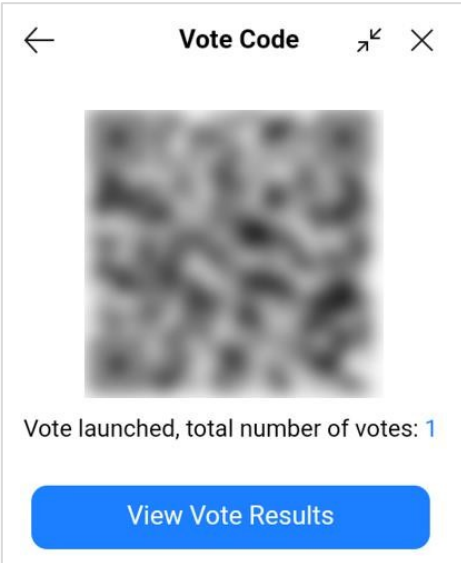
The screenshot shows a 'Vote' dialog box with a close button (X) in the top right. It has two tabs: 'Quick' (selected) and 'Advanced'. In the 'Quick' tab, there is a numeric keypad with the number '3' highlighted. The text 'I want to set' is to the left of the keypad, and 'options' is to the right. Below the keypad are two radio buttons: 'Anonymous' (selected) and 'Multiple Selections'. At the bottom is a blue button labeled 'Generate Vote Code'.

Figure 5-9 クイック投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 匿名：名前を明かさずに投票します。
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択します。

Step 3 「投票コードを生成」をクリックして、携帯電話でコードをスキャンして投票します。



The screenshot shows a 'Vote Code' dialog box with a back arrow, a share icon, and a close button (X) in the top bar. It features a large QR code in the center. Below the QR code, the text 'Vote launched, total number of votes: 1' is displayed. At the bottom is a blue button labeled 'View Vote Results'.

Figure 5-10 携帯電話での投票

Step 4 「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認します。

Step 5 オプション：「スキャンしてダウンロード」をクリックすると、携帯電話から投票結果をダウンロードできます。

詳細な投票

手順

Step 1 「詳細」をクリックして、携帯電話でQRコードをスキャンして投票するように設定します。

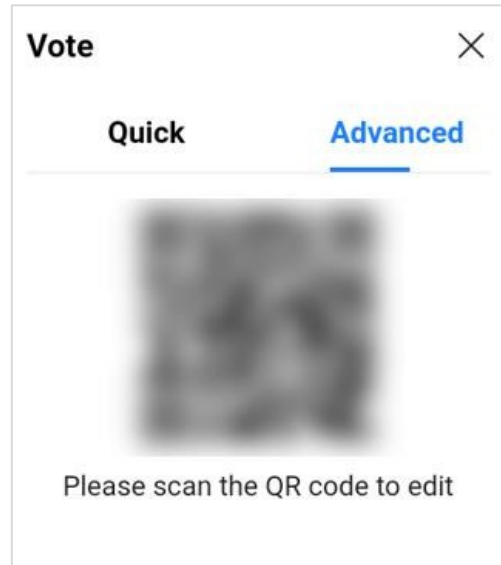


Figure 5-11 詳細投票

Step 2 実際のニーズに応じて、以下のパラメータを設定してください。

- 投票テーマ／投票オプション：カスタム設定。
- 匿名：名前を明かさずに投票します。
- 複数選択：投票時に複数の選択肢を選択できます。

Step 3 「投票を開始」をクリックして、携帯電話でQRコードをスキャンして投票してください。

Step 4 「投票結果を表示」をクリックして投票を終了し、詳細を確認してください。

Step 5 オプション：「スキャンしてダウンロード」をクリックすると、携帯電話で投票結果をダウンロードできます。

5.5.4 Random Select

教室では、抽選を行ったり、質問に答える生徒をランダムに選んだりすることができます。

手順

Step 1  → 「ランダム選択」に移動し、選択肢の数を設定します。「次へ」をクリックします。

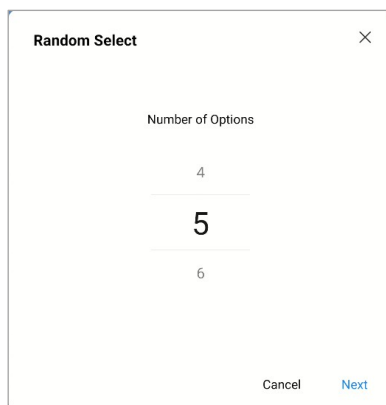


Figure 5-12 選択肢の数を設定

Step 2 「」をクリックしてラッキーホイールを回し始め、もう一度クリックして停止させます。すると、ランダムに選ばれた選択肢が表示されます。

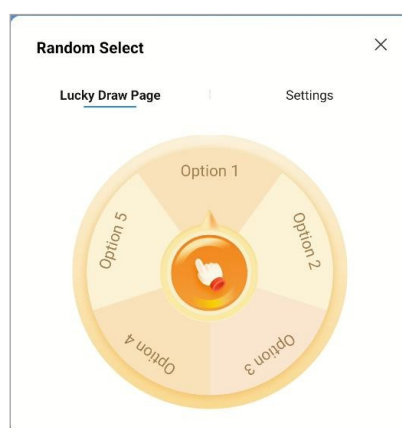


Figure 5-13 ラッキーホイール

 Note

「設定」をタップすると、オプションの名前を編集できます。

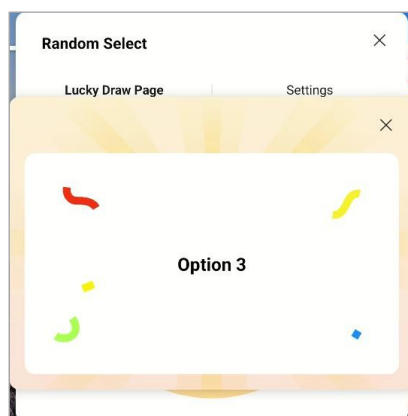


Figure 5-14 選択された選択肢

5.6 カメラ機能

5.6.1 Camera

「カメラ」をクリックして、写真やビデオを撮影します。

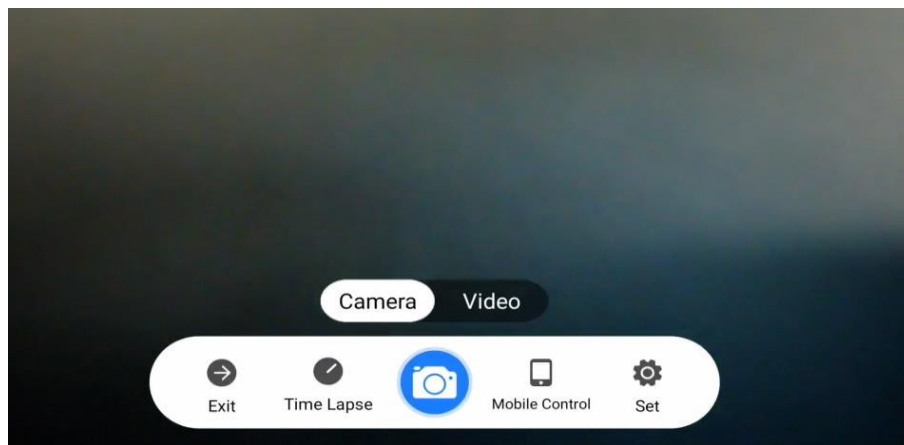


Figure 5-15 カメラ

Table 5-5 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	カメラを終了します。
	選択した遅延時間に応じて、撮影を遅らせます。
	写真を撮影します。撮影した写真はホワイトボードにインポートしたり、携帯電話に保存したりできます。
	携帯電話と本機が同じ LAN に接続された後、コードをスキャンしてカメラを操作し、写真を撮ることができます。

5.6.2 Video

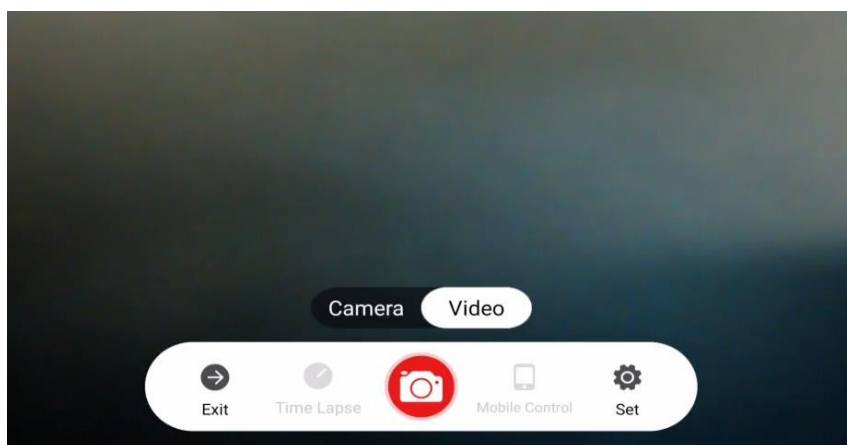


Figure 5-16 ビデオ

Table 5-6 スクリーンショットツールバーの説明

アイコン	説明
	ビデオを終了します。
	録画を開始します。

5.6.3 Settings

[設定] をクリックして、以下のパラメータを設定します。

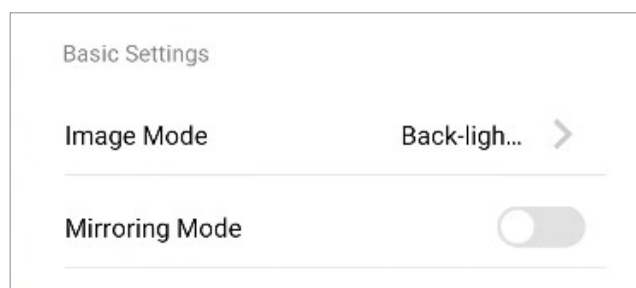


Figure 5-17 カメラの設定

画像モード

クリックして、「標準」、「鮮やか」、「逆光」などの画像モードを選択します。ミラーリング

モード

有効にすると、カメラの画像がミラーリングされます。

第6章 システム設定

デバイスの電源を入れると、画面にメインページが表示されます。画面を左右にスワイプして、アプリケーション、デバイスのステータス、およびヘルプドキュメントを表示します。

6.1 ネットワーク設定

画面の下部にネットワークの状態が表示されます。

Table 6-1 ネットワークの状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	ワイヤレスネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

6.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 「設定」→「ネットワーク」→「有線ネットワーク」に移動します

Step 2 。有線ネットワークを有効にします。

Wired Network	☐
Network Address	Disconnected
MAC Address	44:AA:AA:19:AA:CC
Proxy	☐
Static IP	☐

Figure 6-1 有線ネットワークの設定

Step 3 オプション：タップして、**プロキシ**または**静的 IP** を有効

にします。 **プロキシ設定**

プロキシを有効にした場合は、**プロキシホスト**と**ポートNo.**を設定し、プロキシを使用しないURLを設定する必要があります。

Proxy	☒
Port	
Port No.	
The following address do not use	

Figure 6-2 プロキシ設定

静的 IP 設定

静的 IP を有効にした場合は、**静的 IP**、**ゲートウェイ**、**サブネットマスク**、**DNS1**、**DNS2** などのネットワークパラメータを設定する必要があります。

Static IP	☒
Static IP	
Gateway	
Subnet Mask	255.255.255.0
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.8.8

Figure 6-3 静的 IP 設定

6.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 [設定] → [ネットワーク] → [ワイヤレスネットワーク] にGoします。

Step 2 WLAN を有効にすると、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークへの接続

- 利用可能なネットワーク一覧から目的のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。
- 「**接続**」をタップすると、ネットワーク情報ページが表示されます。「**ネットワークを削除**」をタップすると、選択したネットワークの情報が削除されます。「**キャンセル**」をタップすると、ページを閉じます。

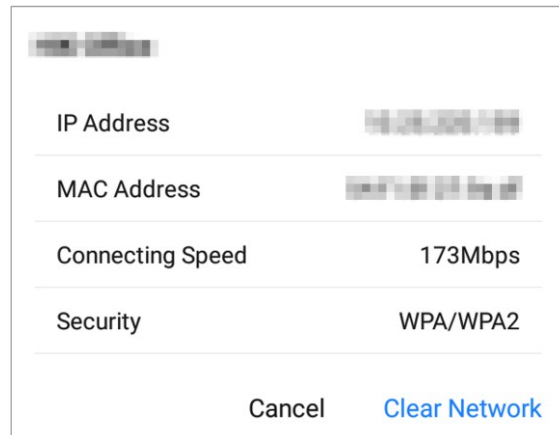


Figure 6-4 ワイヤレスネットワーク情報

その他のネットワークの追加

手順

Step 1 「その他のネットワークを追加」をタップします。

Step 2 Wi-Fi 名を入力し、「セキュリティ」を選択します。

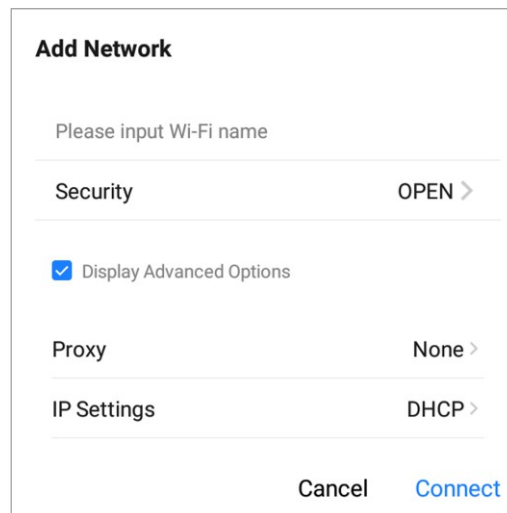


Figure 6-5 その他のネットワークの追加

Step 3 オプション：「詳細設定を表示」にチェックを入れ、プロキシやネットワークのIPタイプを選択します。

Step 4 「接続」をタップして、デバイスを追加した無線ネットワークに接続します。

6.1.3 WLAN Hotspot Settings

このデバイスが有線ネットワークに接続されている場合、WLANホットスポット機能を有効にすることで、他のデバイスにワイヤレスネットワークを提供することができます。

手順

Step 1 [設定] → [ネットワーク] → [ホットスポット] に移動しま

す。Step 2 [ポータブル WLAN ホットスポット] を有効にします

。

xml-ph-0000@deepl.internal 「ポータブル WLAN ホットスポット」を有効にします。ホットスポットの分離：ホットスポットの分離を有効にすると、デバイスが LAN に接続されていても、LAN 内のウェブサイトなどのリソースにアクセスできなくなります。

Step 3 ポップアップページでパラメータを設定します。

Portable WLAN Hotspot	☒
Device Name	Please input network SSID
Security	WPA2 PSK >
Password	 
AP Frequency	5 GHz >
AP Channel	153 >
Hotspot Isolation	☐

Figure 6-6 ホットスポット設定

Note

デバイスが 2.4 GHz と 5 GHz の両方をサポートしている場合は、**AP 周波数**に 5 GHz を、**AP チャンネル**に推奨チャンネルを設定すると、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能をより快適に利用できます。

6.2 ディスプレイ設定

[設定] → [ディスプレイ] にGoし、明るさやスリープ時間などのパラメータを調整します。

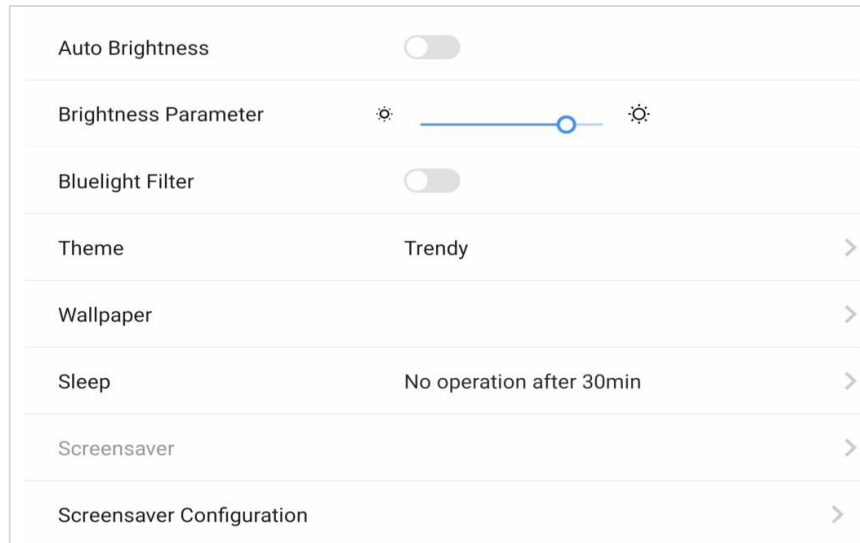


Figure 6-7 ディスプレイ設定

自動輝度調整

この機能を有効にすると、デバイスは環境に応じて自動的に輝度を調整します。

明るさ設定

スライダーをスライドさせて、画面の明るさを調整します。

ブルーライトフィルター

この機能を有効にすると、ブルーライトをカットして目を保護します。

テーマ

デバイスのテーマを設定します。「設定」をタップして希望のテーマを選択し、「適用」をタップします。**の壁紙**

「壁紙」をタップして、壁紙ライブラリまたはシステムの画像ライブラリから希望の画像を壁紙として選択するか、デフォルトの壁紙に戻します。

スリープ

スリープモードになるまでの非アクティブ時間を設定します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを有効にするまでの非アクティブ時間を設定します。

スクリーンセーバーの設定

タップしてポップアップ画面からスクリーンセーバーの画像を選択し、「ライブビュー」をタップして効果をプレビューします。「適用」をタップすると、選択した画像がスクリーンセーバーとして設定されます。スクリーンセーバーはカスタマイズすることも可能です。



Note

「+」をタップすると、「**スクリーンセーバーの設定**」で新しいスクリーンセーバーの画像を追加できます。

6.3 オーディオ設定

手順

Step 1 「設定」→「オーディオ」に移動して、オーディオパラメータを設定します。

Step 2 実際の設置方法に応じて「**オーディオモード**」を選択してください。

- 通常モード：低音を含み、自然な音質です。
- 会議モード：クリアなボーカルを重視し、低音を抑えた、デフォルトの会議モードです。音量値を調

Step 3 整します。

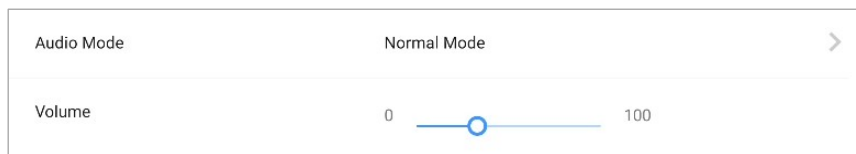


Figure 6-8 オーディオ設定

6.4 言語と入力の設定

手順

Step 1 「設定」→「言語と入力」に移動します。

Step 2 「言語」をタップして、希望の言語を選択します。

Step 3 「入力方式」をタップして、希望の入力方式を選択します。

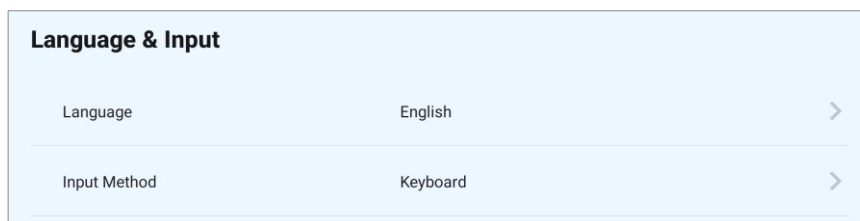


Figure 6-9 言語と入力の設定

6.5 日付と時刻の設定

手順

Step 1 「設定」→「日付と時刻」に進みます。

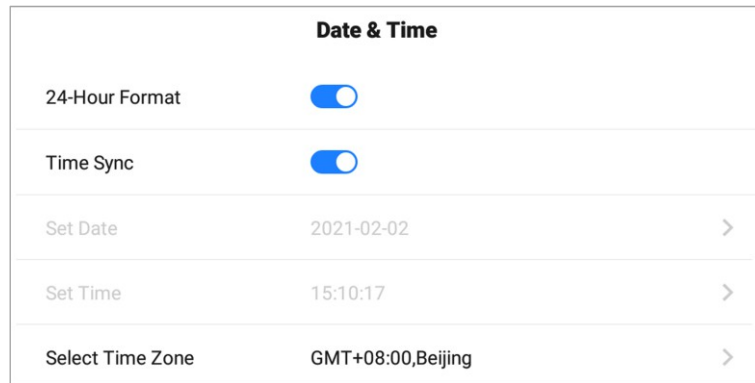


Figure 6-10 日付と時刻の設定

Step 2 「時刻同期」を有効にします。

Step 3 「タイムゾーンを選択」をタップして地域を選択します。

Step 4 オプション：「24 時間表示」を有効にすると、時刻が 24 時間形式で表示されます。



Note

「時刻同期」が無効になっている場合は、日付と時刻を手動で設定できます。

6.6 アプリケーション管理

手順

Step 1 「設定」→「アプリケーション管理」に移動します。目的の

Step 2 アプリケーションをタップして詳細を確認します。

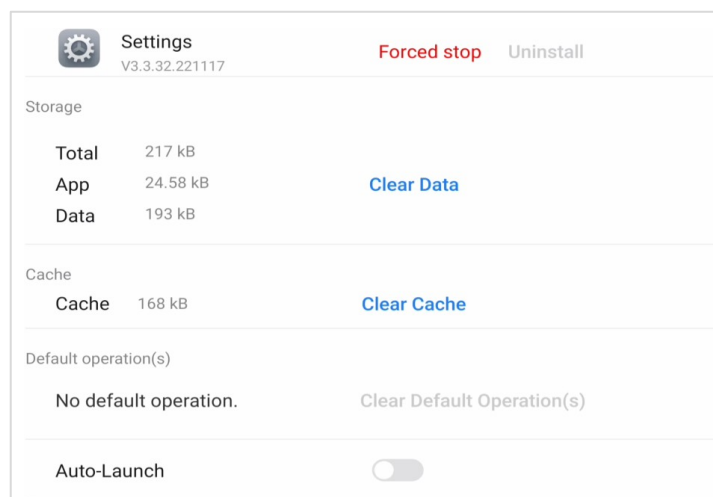


Figure 6-11 アプリケーションの詳細

Note

- プリインストールされているアプリケーションはアンインストールできません。「**アプリケーションの詳細**」にあるアイコンをタップすると、そのアプリケーションを開くことができます。
- サードパーティ製アプリケーションのインストール後、4K ディスプレイを有効にできます（端末の再起動後に有効になります）。

Step 3 「**自動起動**」を有効にします。選択したアプリは、デバイスの電源投入時に自動的に起動します。

6.7 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどを Bluetooth 経由で接続でき、ファイル転送も行うことができます。

Bluetooth を有効にして、近くにある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップして接続します。

6.8 補助機能

6.8.1 Temperature Control

本機は内部温度をリアルタイムで監視します。温度が設定された警告温度またはアラーム温度を超えた場合、本機はプロンプトメッセージを表示し、ユーザーが速やかに対処できるよう促します。

手順

Step 1 「**設定**」→「**補助機能**」→「**温度制御**」の順に選択します。

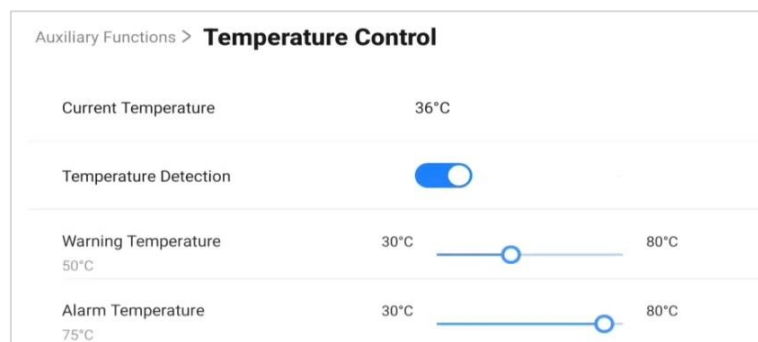


Figure 6-12 インテリジェントな温度制御

Step 2 「**温度検出**」を有効にします。

Step 3 スライダーをスライドさせて、「**警告温度**」と「**アラーム温度**」を設定します。



設定されたアラーム温度を超えると、温度情報が表示され、デバイスの電源を切るよう促されます。

6.8.2 Physical Button Settings

物理ボタンの機能はカスタマイズ可能です。

手順

Step 1 「設定」→「補助機能」→「物理ボタンの設定」に進みます。

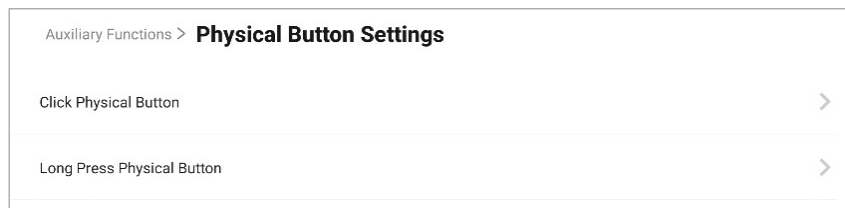


Figure 6-13 物理ボタンの設定

Step 2 「物理ボタンをタップ」をタップして、OPS スイッチ、クイック録画、ホワイトボードのクイックオープン、PC への切り替え、または無操作のいずれかの機能を設定します。デフォルト設定は「PC への切り替え」です。物理ボタンを押すと、デバイスは PC に切り替わります。

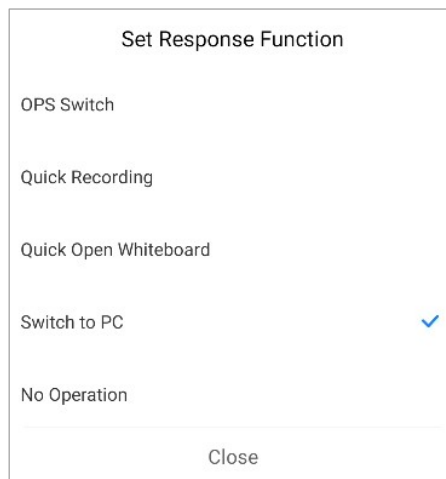


Figure 6-14 応答機能の設定

Step 3 「物理ボタンの長押し」をタップして機能を設定します。物理ボタンを長押しすると、設定した対応する機能が実行されます。

6.9 詳細設定

「設定」→「詳細設定」を選択します。以下のパラメータを設定できます。

Advanced Settings		
Email	Settings	>
Input Source Settings	Settings	>
Select Camera	None	>
Input Device	Line In	>
Output Device	System speaker	>
Startup/Shutdown	Settings	>
Device Permission	Settings	>
QR Code Sharing Settings	Share in LAN Only	>
Wakeup Settings	Settings	>

Figure 6-15 詳細設定

Eメール

ホワイトボードから共有コンテンツを受信するためのメールアドレスを設定します。

入力ソース設定

● 起動時の入力ソース

デバイスの起動時に使用する入力ソースを選択します。内蔵システムまたは外部入力ソースを選択できます。デフォルトの起動時入力ソースは Android です。入力ソースの名前のカスタマイズに対応しています。

● 信号源接続時の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースが接続されたときに、システムは新しく接続された入力ソースに切り替わります。

● 信号源から切断された際の自動切り替え

この機能を有効にすると、外部入力ソースからデバイスが切断されたときに、システムは設定された入力ソースに切り替わります。

カメラの選択

デバイスに紐付けられているカメラの中から、カメラを選択します。

入力デバイス

外部 USB 入力オーディオデバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ入力デバイスを選択できます。

出力デバイス外部 USB 出力オーディオデバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

外部 USB 出力オーディオデバイスに対応しており、複数のデバイスからオーディオ出力デバイスを選択できます。

起動/シャットダウン設定

- 起動モード

「起動」または「スタンバイ」を選択します。

- スケジュールによる電源オン/オフ

起動およびシャットダウンのスケジュールを設定します。

- 信号なし時のシャットダウン

信号が受信できない場合の自動シャットダウン時間を設定します。

デバイスの権限設定

- Wi-Fiを無効にする

Wi-Fi を無効にすると、デバイスはワイヤレスネットワークに接続できなくなります。

- USB フラッシュドライブを無効にする

USB フラッシュドライブを無効にすると、外部ストレージデバイスを使用できなくなります。

QRコード共有設定

QRコードを介して、同じLAN内の他のデバイスとホワイトボードのコンテンツを共有します。

ウェイクアップ設定

- シリアルポートからの起動

この機能を有効にすると、スタンバイ状態のデバイスをシリアルポートコマンドで起動することができます。

- 信号ソースからの起動

HDMI 信号によるウェイクアップは、デフォルトで有効になっています。本機の電源がオフの状態、HDMI 入力を通じて電源をオンにすることができます。



Note

この機能を無効にすると、スタンバイ状態のデバイスは電源スイッチまたはリモコンの電源スイッチで起動できますが、シリアルポートやHDMIからは起動できなくなります。

EDID バージョン

EDID のバージョンを選択できます。

省エネシャットダウン

「シャットダウン」をクリックして、デバイスの電源を切り、電力を節約してください。

6.10 ユーザー設定

「設定」→「ユーザー設定」に移動し、アカウント情報やログイン方法を設定してください。

User Settings	
Multi-User Settings	☐
Account Name	Owner >
Login Method	Password Login >
Login Password	Change Password >
Unlock USB Flash Disk	Change USB Flash Disk File >
Unlock Card	Not set. >

Figure 6-16 ユーザー設定

マルチユーザー設定

「マルチユーザー設定」を有効にすると、現在のユーザーの編集、ログイン方法の設定、アカウントの追加、変更、削除を行うことができます。

アカウント名

自分のアカウント名を設定・編集できます。

ログイン方法

「パスワード不要のログイン」または「パスワードログイン」からログイン方法を選択します。

ログインパスワード

タップして、ログインパスワードを設定・変更します。

USBフラッシュディスクのロック解除

タップして、USBフラッシュディスクによるログイン方法を設定します。

手順

Step 1 「USB フラッシュディスクのロック解除」をクリックします。

Step 2 ログインパスワードを入力し、USBフラッシュドライブを1本挿入してください。

Step 3 「ファイルを生成」をクリックします。デバイスが自動的にUSBフラッシュドライブ内にロック解除ファイルを生成します。ファイルが生成された後は、次回からUSBフラッシュドライブを直接挿入するだけで簡単にログインできます。



Figure 6-17 ロック解除用USBフラッシュドライブのリンク

ロック解除カード

タップして、ロック解除カードによるログイン方法を設定します。

手順

Step 1 「アンロックカード」をクリックします。

Step 2 ログインパスワードを入力すると、「アンロックカードをリンク」が表示されます。

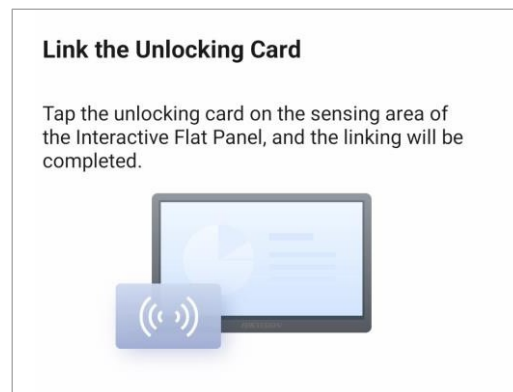


Figure 6-18 アンロックカードの登録

Step 3 デバイスのNFC読み取りエリアにアンロックカードをタップしてかざしてください。リンクが完了すると、次回からはアンロックカードを読み取りエリアに直接タップするだけでログインできるようになります。

6.11 端末情報

「設定」→「端末情報」に移動して、端末情報を確認してください。端末名は変更可能で、端末をデフォルト設定に復元することもできます。



Caution

設定をデフォルトの状態に復元すると、すべてのデータが失われます。

6.12 サブ画面

画面の左側から右側へスワイプすると、ネガティブ画面が表示され、デバイスのステータスやシステムのヘルプを確認できます。

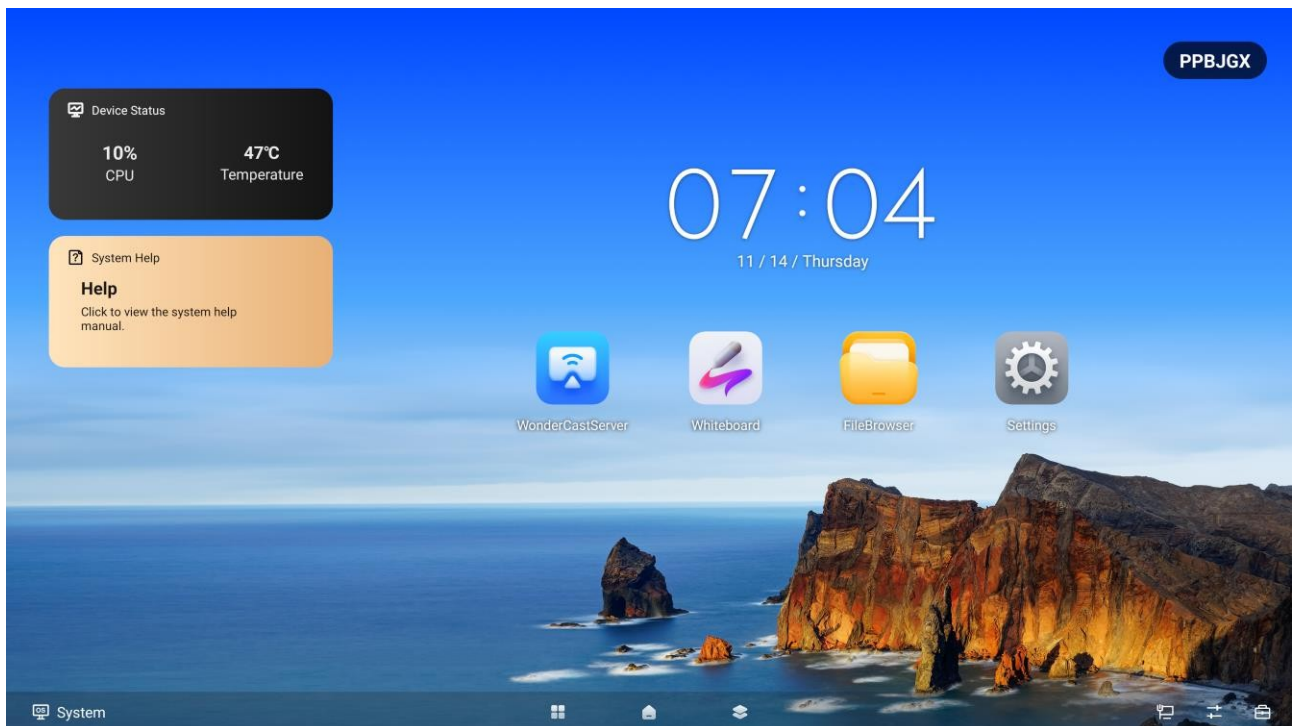


Figure 6-19 ネガティブ画面

第7章 インテリジェントアプリケーション

7.1 FileBrowser

メインページで「FileBrowser」をタップします。デフォルトでは、現在のディレクトリにあるすべてのファイルが表示されます。「画像」、「Doc」、「AV」、または「Installation Package」をタップすると、指定したファイルを表示できます。

各アイコンの説明は以下の通りです。

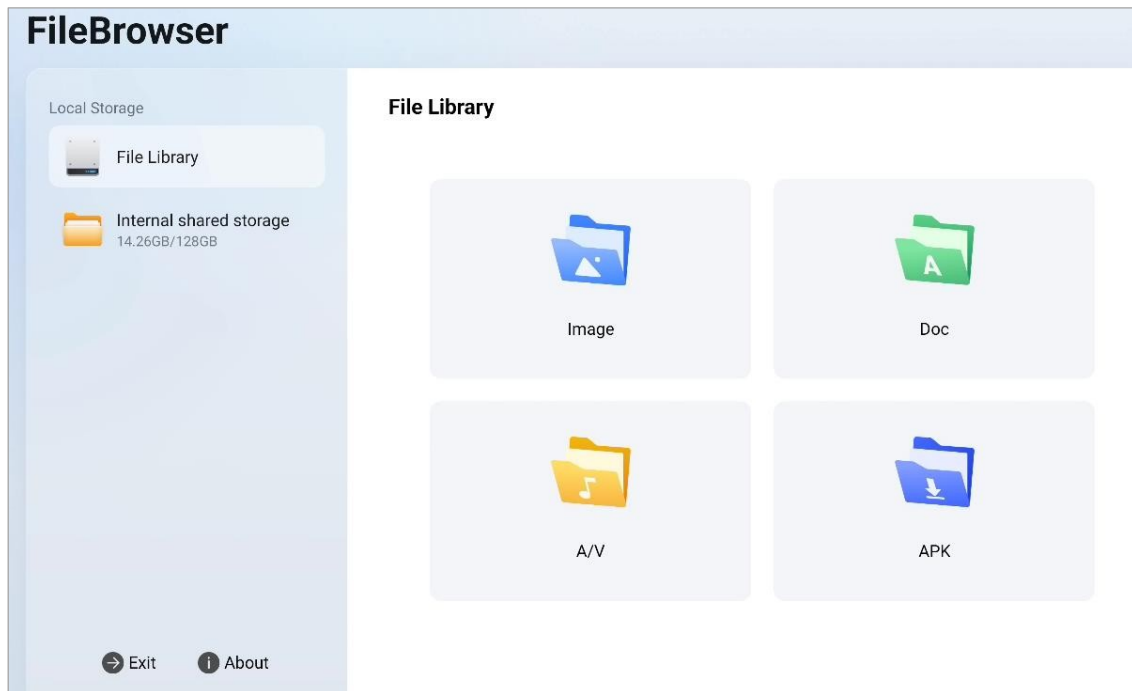


Figure 7-1 ファイル管理

Table 7-1 ファイル管理アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る／進む	前のページ／次のページへ移動します。	作成	新規フォルダの作成。
グリッド／リスト	ファイルをグリッドモードまたはリストモードで表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	--	--

「」をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能については、以下で説明します。

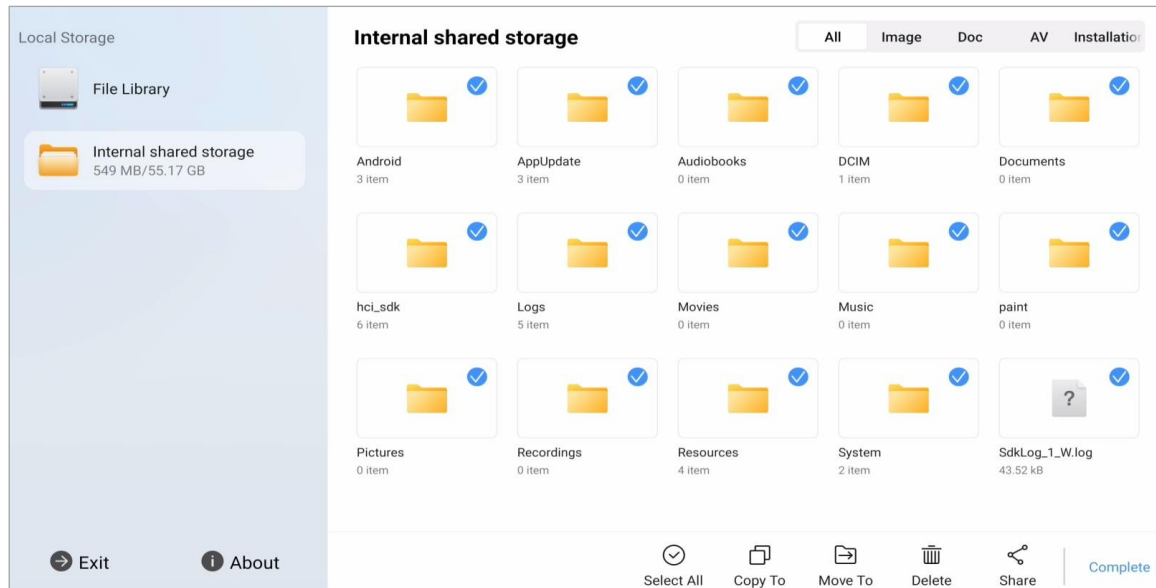


Figure 7-2 ファイルの編集

Table 7-2 編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべて選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押しして、その他の操作を実行します。

7.2 ブラウザ

デバイスをインターネットに接続し、「**ブラウザ**」をタップします。アドレスバーにURLを入力して、インターネット上のテキスト、画像、オーディオ、ビデオを表示します。

7.3 ホワイトボード

ホワイトボードは、タッチ入力、画像の挿入、コンテンツの共有などの機能を一体型で統合した編集ソフトウェアです。ユーザーは、タッチ入力、消去、ページ切り替え操作を行うために、さまざまな背景を持つボードを追加できます。画像のインポートや編集に対応しており、ホワイトボードの内容が完成したら、ローカルに保存したり、メールで共有したりすることができます。

- : 選択した領域内のコンテンツを削除します。

- : 選択した領域内のコンテンツをロックします。ロックを解除するには、その領域を長押しするか、 をタップします。
- : 領域内のコンテンツをコピーします。

Note

- 選択した領域内のコンテンツのサイズ変更、移動、回転に対応しています。
- 選択範囲の外側をタップすると、選択が解除されます。

元に戻す、やり直し

誤って書き込んだり消去したりした場合、元に戻すツールを使用して操作を元に戻すことができます。

- : クリックすると、直前の操作を元に戻します。
- : クリックすると、前の操作をやり直します。

7.3.2 More Tools

ツールバーの「」をタップすると、以下のツールが表示されます：

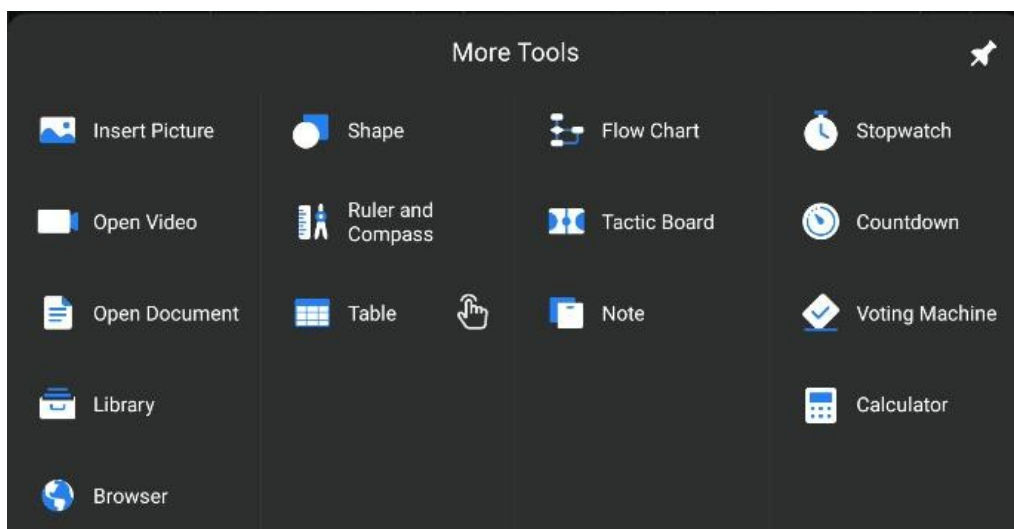


Figure 7-5 その他のツール

Table 7-3 ツールの説明

アイコン	名前	説明
	図形	2Dおよび3Dの図形を挿入します。
	定規とコンパス	定規、分度器、直角定規、またはコンパスを使用します。ドラッグしてサイズや角度を調整します。
	表	● 表を挿入します。 ● 表を長押しして行や列を追加・削除します。 ● 表をドラッグして移動またはサイズ変更します； ● 表をタップして、表内の文字の色を変更できます。 ● 「」をクリックし、「Shape Recognition」を有効にします。水平線や垂直線を描くと、表の認識がトリガーされます。
	フローチャート	● ホワイトボード上でフローチャートを描くために、さまざまな図形や線を選択できます。 ● 「」をクリックして、図形バーを固定します。
	戦術ボード	タップして、バスケットボールの戦術ボードを作成します。
	メモ	メモを挿入します。メモの移動、サイズ変更、コピー、および色の変更に対応しています。
	ストップウォッチ	ストップウォッチを開きます。
	カウントダウン	カウントダウンを開きます。
	投票機	投票機を開く。
	電卓	電卓を開く。
	画像の挿入	画像を挿入した後、その画像を固定、サイズ変更、移動、回転、削除したり、その領域に書かれた内容の色を変更したりすることができます。
	ビデオを開く	ビデオファイルを再生します。
	ドキュメントを開く	PPT、PPTX、DOC、DOCX、およびPDF形式のドキュメントを開いて表示します。
	ライブラリ	タップして画像やビデオを検索し、挿入します。
	ブラウザ	ホワイトボードの横にブラウザを表示します。

Note

- 「」をクリックすると、サイドバーが表示されます。

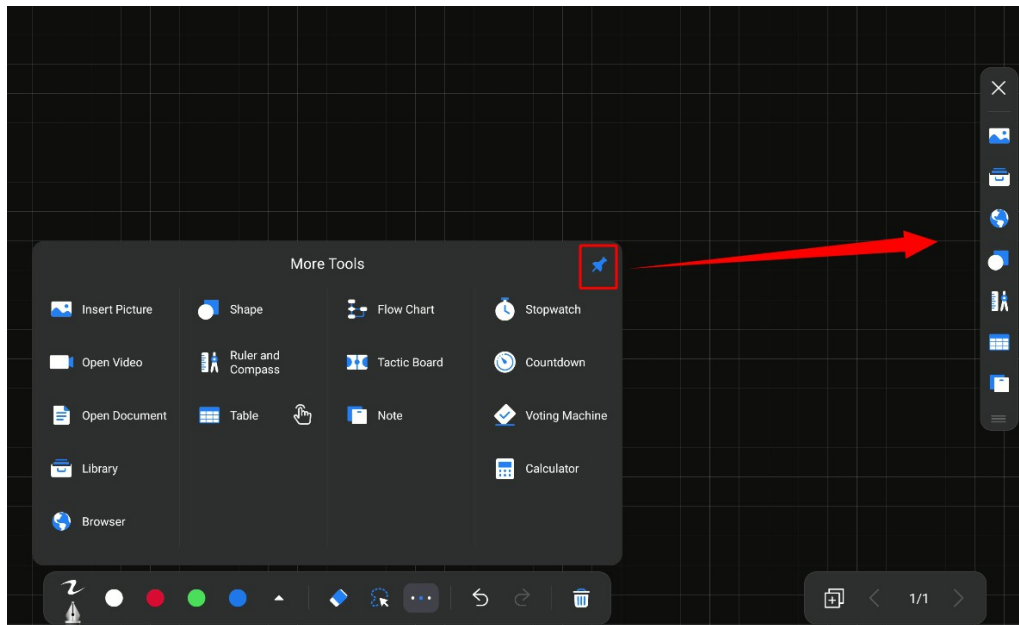


Figure 7-6 ツール サイドバー

- 図形や表の任意の角に線を引くと、拡大できます。

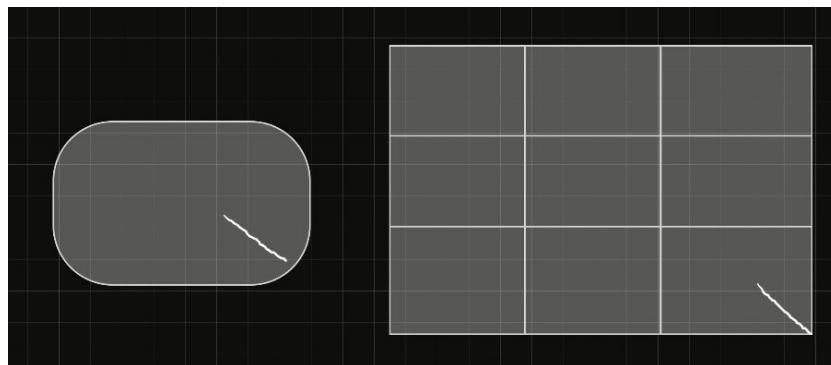


Figure 7-7 図形と表を展開

- ライブラリとブラウザは、ホワイトボードアプリケーションが全画面表示の場合にのみサポートされます。
- 機能は状況によって異なる場合があります。実際のページをご確認ください。

戦術ボード

- 1) 「」をタップして戦術ボードを作成します。「」を移動させて選手の位置を変更します。
- 2) 右下隅の「」を有効にすると、選手に線を引くことができます。線の種類が提示されるので、その中から選択してください。

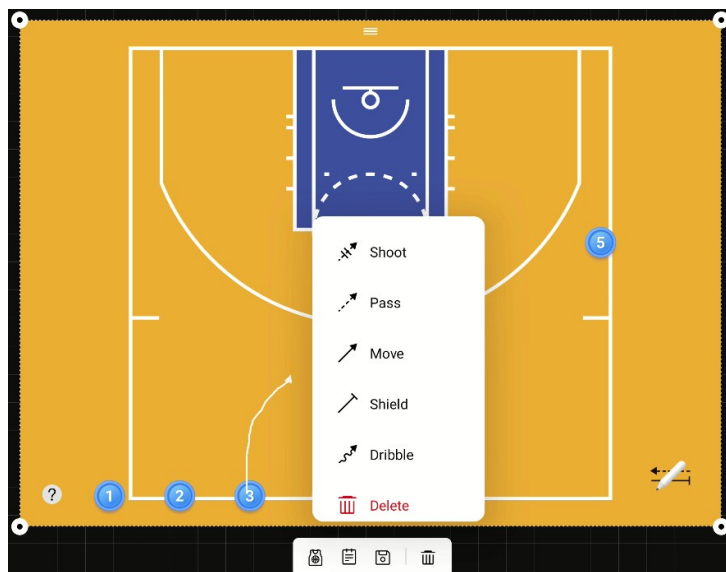


Figure 7-8 線の種類を選択

- 3) 「」をクリックして、選手の数を選択します。「」をクリックして、戦術を選択します。

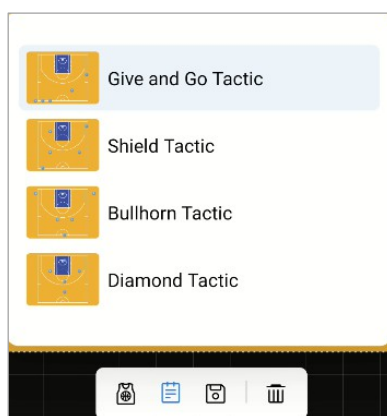


Figure 7-9 戦術の選択

- 4) ボード上に独自の戦術を描き、「」をクリックして戦術に名前を付け、保存します。保存した独自の戦術は、「」で確認できます。
- 5) 左下隅の「」をクリックすると、機能ガイドが表示されます。

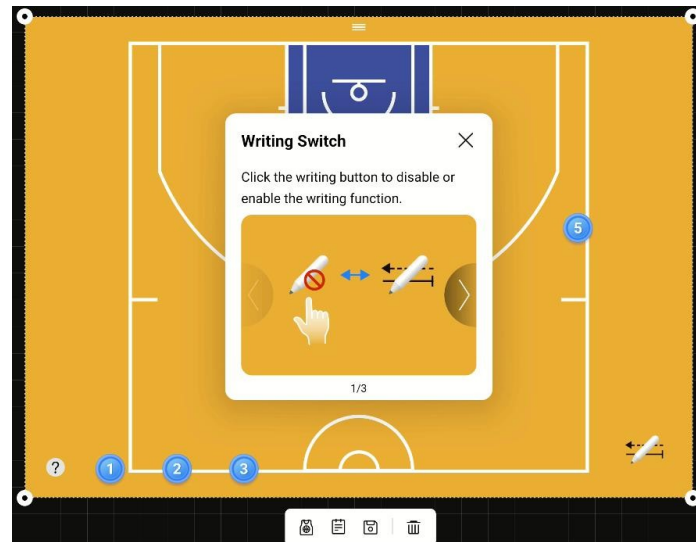


Figure 7-10 機能ガイド

ドキュメントを開く

PDF形式のホワイトボードドキュメントを挿入して、編集することができます。

手順

Step 1 現在のホワイトボードページを PDF 形式で保存すると、ファイルは自動的に FileBrowser に保存されます。

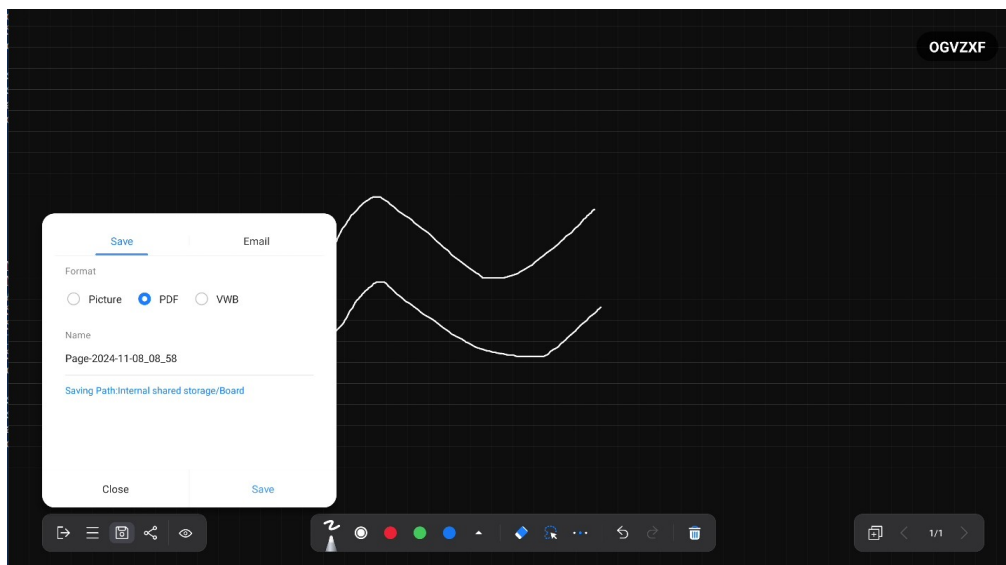


Figure 7-11 PDF形式で保存

Step 2 「」 → 「 Open Document」をタップし、「FileBrowser」を選択します。「Board」をタップすると、保存されたホワイトボードドキュメントが表示されます。

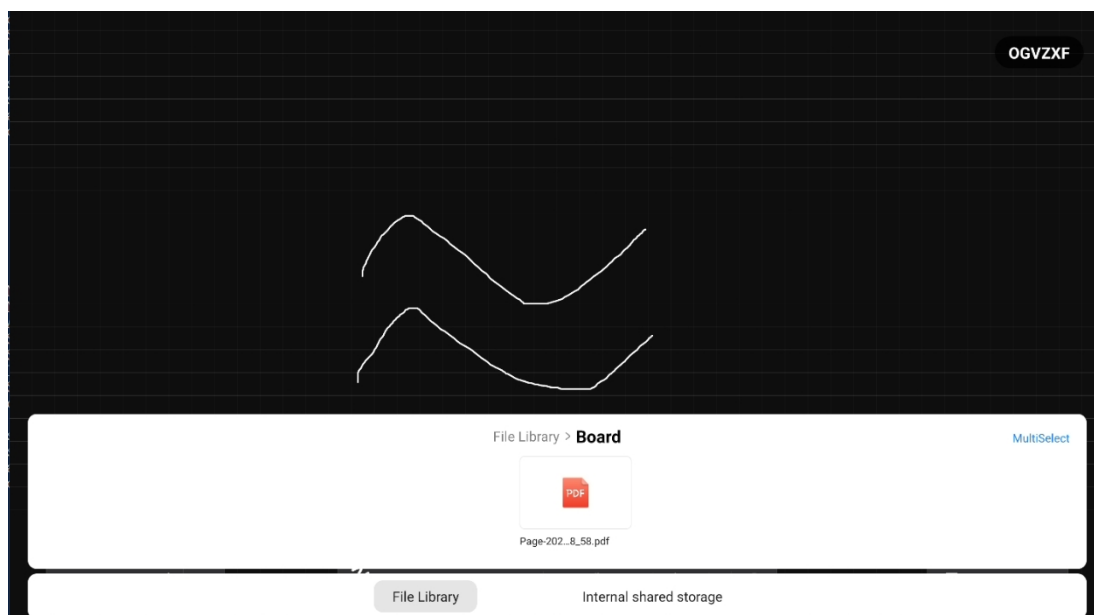


Figure 7-12 ドキュメントを開く

Step 3 挿入したいドキュメントをクリックすると、保存されたホワイトボードページ上で編集できます。

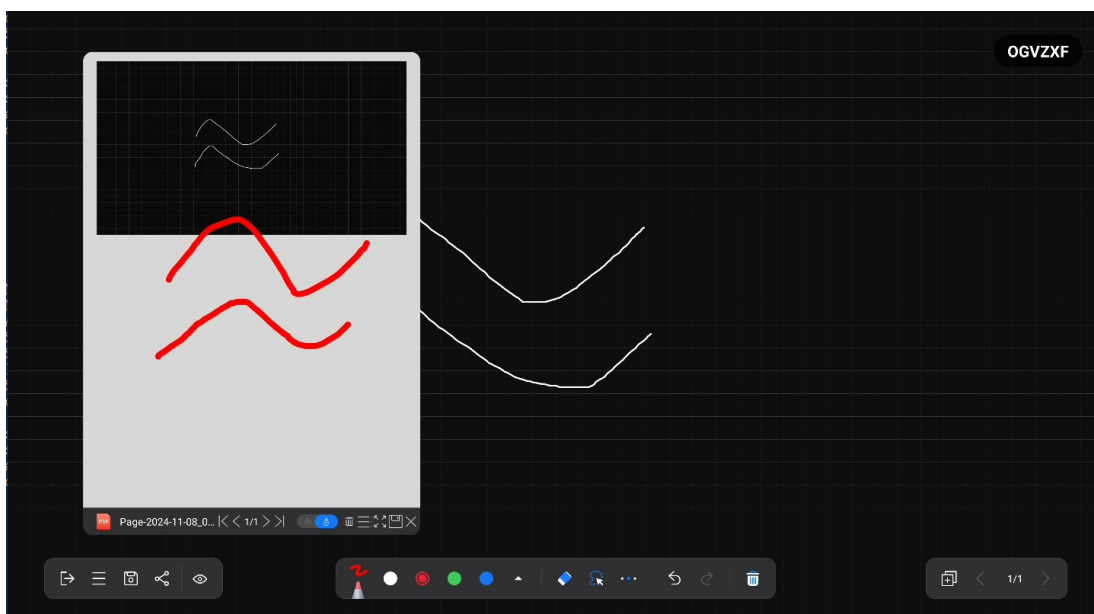
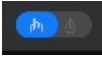


Figure 7-13 ドキュメントの編集

Table 7-4 挿入されたドキュメントの機能

アイコン	説明
	ドキュメント上でスライドしたり、書き込んだりできます。
	ドキュメントの編集を削除します。
	右側のサムネイルを探します。サムネイルを表示するか、ページ番号を表示するかを選択できます。
	挿入されたドキュメントを展開します。
	編集したドキュメントを保存します。
	挿入したドキュメントを閉じます。

7.3.3 Manage Whiteboard

新しいホワイトボードの作成、ホワイトボードの切り替え、およびホワイトボードの削除を行うことができます。

Table 7-5 機能の説明

機能	説明
ホワイトボードの追加	右下の「  」をタップして、ホワイトボードページを追加します。
ホワイトボードを切り替える	◀ または ▶ をタップして、ホワイトボードのページを切り替えます。
ホワイトボードのドラッグ	1つのホワイトボードは無限に広いため、5本の指でホワイトボードページを上下左右にドラッグして、書き込みスペースを拡張できます。
ホワイトボードの表示	ページ番号エリアの「1/8」をタップすると、ホワイトボードページのサムネイルが表示されます。サムネイルを上下にスワイプし、ページをタップすると、そのページに移動します。
ホワイトボードの削除	ページ番号エリアの「1/8」をタップし、ページの右下隅にある「  」をタップすると、そのページを削除できます。

Note

ホワイトボードを閉じると、すべての情報がリセットされます。

7.3.4 Save Whiteboard

ホワイトボードの内容が完成したら、そのページを端末にローカル保存して参照用として残したり、他のユーザーと共有したりすることができます。

手順

Step 1 ホワイトボードの左下にある「」をタップします。

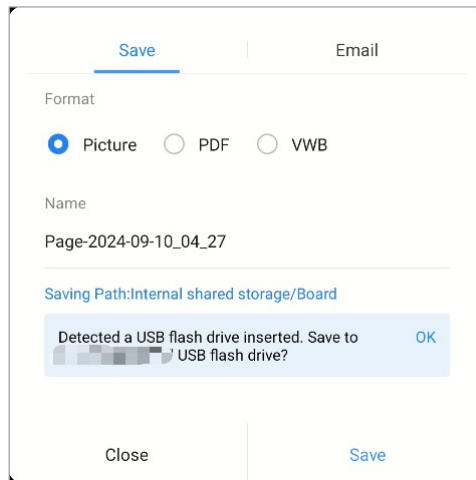


Figure 7-14 ホワイトボードの保存

Step 2 形式を選択します。



ボードは、PNG 形式の画像、PDF 形式のドキュメント、または編集可能な VWB 形式のファイルとして保存できます。

Step 3（オプション）ボードの名前を編集します。Step 4 [保

存] をタップします。

7.3.5 Share Whiteboard

ユーザーは、EメールやQRコードを介して、ホワイトボードを他のユーザーと共有できます。

メールで共有

ホワイトボードの左下にある「」をタップし、[Email] を選択します。



開始する前に、メールサーバーが設定されていることを確認してください。

QR コードによる共有

左下の「」をタップすると、同じ LAN 上のモバイル端末からコードをスキャンして、ホワイトボードのコンテンツをダウンロードできます。

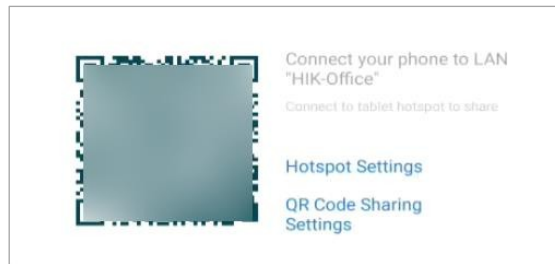


Figure 7-15 QRコードで共有

7.3.6 More Functions

ホワイトボードの左下隅にある「」をタップすると、画面分割での書き込みや2色での書き込みなどの機能を利用できます。

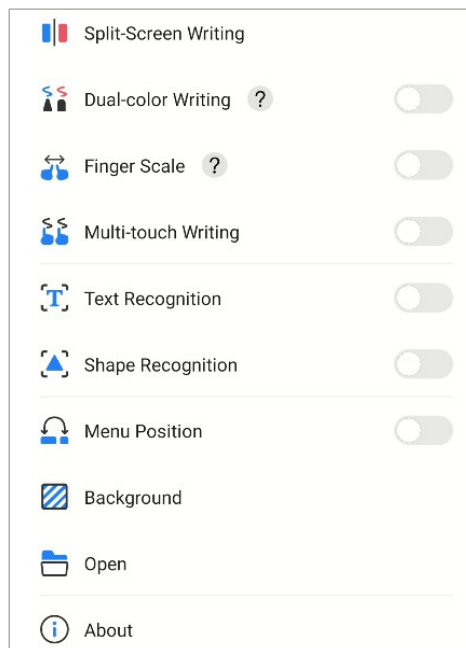


Figure 7-16 その他の機能

画面分割での書き込み

分割画面でのホワイトボードの同時書き込みに対応しています。

- 「」または「」をタップして、2つまたは3つの画面を切り替えます。
- 「」をタップすると、分割画面での書き込みモードを終了します。



分割画面の数を変更したり、分割画面での書き込みを終了したりすると、現在の内容は保存されません。

2色書き

有効にすると、書き込みペンの先端と尾部に、それぞれ異なる色を選択して書き込みを行うことができます。

Note

- ストロークサポートを長押しして、ペンの閾値を調整します。
-  をクリックすると、機能ガイドを表示できます。

指での拡大・縮小

有効にすると、2本の指を使ってページの拡大・縮小を行うことができます。  をクリックして、機能ガイドをご覧ください。

マルチタッチ書き込み

有効にすると、ホワイトボードはマルチフィンガータッチに対応し、複数の指で同時にホワイトボードを編集できるようになります。

テキスト認識

有効にすると、ホワイトボードは手書きのテキストを認識し、通常のテキストに修正することができます。

Note

マルチタッチ書き込みと文字認識は、同時に有効にすることはできません。

形状認識

この機能を有効にすると、ホワイトボードは描かれた図形を認識し、標準的な図形に補正することができます。

Note

- 認識可能な図形には、円、三角形、長方形、直線が含まれます。
- テキスト認識と図形認識は、同時に有効にすることはできません。

メニューの位置

この機能を有効にすると、ホワイトボードの左側にあるメニューと右側にあるページ番号の位置が入れ替わり、機能アイコンやメニューに簡単にアクセスできるようになります。

背景

ホワイトボードの背景や陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズすることができます。

開く

VWB形式で保存されたホワイトボードファイルを再度開いて編集します。

背景ホワイトボードの背景と陰影を設定し、必要に応じてホワイトボードの背景スタイルをカスタマイズできます。開

現在のバージョンとオープンソース契約を確認します。

ツールバーを非表示

左下隅の「」をタップしてツールバーを非表示にします。「」をタップすると展開されます。

7.4 WonderCastServer

PCや携帯電話の画面をインタラクティブフラットパネルにミラーリングしたり、PCや携帯電話からフラットパネルを操作したりすることができます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 7-17 WonderCastServer

7.5 システムにプリインストールされているアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションの概要を示しています。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントを参照してください。



Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスの種類によって異なります。

Table 7-6 システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ホワイトボード	描画や書き込みに使用します。コンテンツの保存、移動、拡大、縮小、削除、ダウンロードが可能です。
ファイルブラウザ	ファイルを管理します。
ブラウザ	デバイスがネットワークに接続されると、ブラウザを通じてインターネット上の情報を閲覧できます。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の写真を閲覧するために使用します。
アップグレード	リモートアップグレード、ローカルアップグレード、およびローカルコンポーネントのアップグレードが可能です。
WonderCastServer	フラットパネル、携帯電話、またはPCを接続して画面ミラーリングを行うためのアプリケーションです。
カメラ	カメラによる写真撮影に使用されます。

第8章 付録A よくある質問

質問	原因と解決策
画面に結露が頻繁に発生するのはなぜですか？	保護のため、外側の画面には強化ガラスが取り付けられています。画面と強化ガラスの間には、空気の対流のための隙間があります。主な原因は、画面と外部との間に温度差があることです。高温の空気が、温度の低いガラス表面で凝縮し、結露が発生します。結露はデバイスの起動後に蒸発するため、デバイスの使用には影響しません。
接続後にノートパソコンから音が出ないのはなぜですか？	オーディオケーブルのみを接続している場合、オーディオ出力と画像出力の両方が利用できなくなります。 ● HDMIケーブルを接続してください。 ● Windowsでそのデバイスをオーディオ出力デバイスとして選択してください。
しばらく使用すると画面が熱くなるのはなぜですか？	画面の温度上昇は放熱によるものであり、まったく正常な現象です。当社の放熱設計は業界をリードしており、国家の健康基準に準拠した業界標準の策定者でもあります。
長時間使用すると目に悪影響がありますか？	人間の目がちらつきを認識できる周波数は50Hzです。周波数が50Hzを下回ると、ちらつきが認識され、眼筋の疲労を引き起こします。当製品は60HzのLCD画面を採用しており、人間の目には画面のちらつきが認識されません。同種他製品と比較して、目の疲れを大幅に軽減することができます。
画面に画像が表示されず、デバイスから音も出ないのはなぜですか？	● 電源ケーブルが接続されているか確認してください。 ● コンセントが正常に機能しているか確認してください。 ● 電源スイッチが入っているか確認してください。
なぜ本体のHDMIチャンネルに入力信号がないのですか？	● 入力ソースが正常に動作しているか確認してください。 ● HDMIインターフェースまたはケーブルを交換してください。 ● PCにアクセスできる場合は、PCでHDMI出力を設定してください。
有線ネットワークが不安定なのはなぜですか？	ネットワークの自動検出オプションを無効にしてみてください。



遠くを見据え、さらに先へ
Go